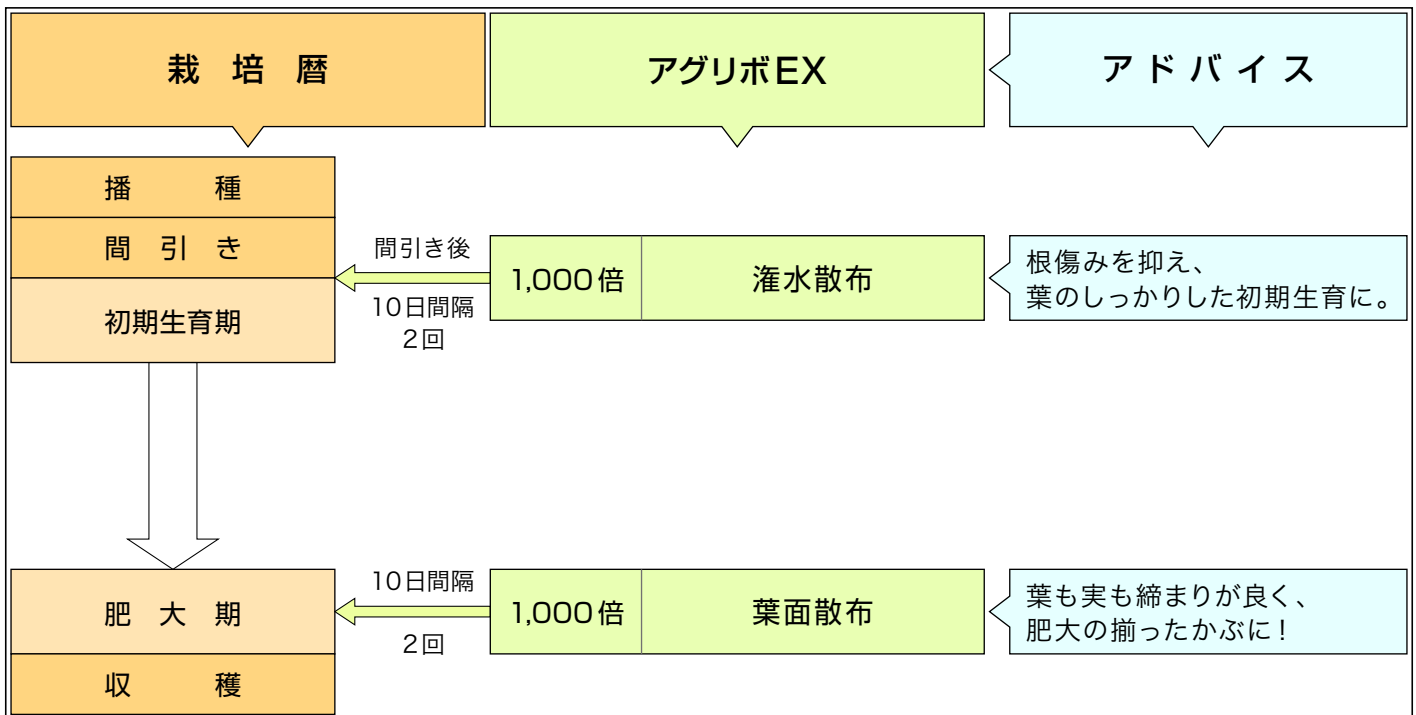


夏も冬も、葉を厚く丈夫に育てる。

かぶは、高温にも低温にも比較的強い作物なので、周年栽培が行なわれている地域もあります。とはいえ、夏場の徒長や厳寒期の凍害など、やはり厳しい時期は障害が付き物。できれば「アグリボEX」の定期散布が理想ですが、少なくとも以下のポイントは抑えておきましょう。



ヤワラの加用が効果的！

かぶには、高温で葉が萎れやすかったり、逆に低温で霜害などの障害が出やすい品種があります。品種の特性を考えた管理を行なうとともに、「アグリボ EX」に展着促進材トレハロース入りカルシウム剤「ヤワラ」を加用して、温度ストレスに対する抵抗力を上げておきましょう。

天候不順が予想される場合、「アグリボEX」の代わりに“光触媒”入り「アグリボ3」の3,000倍希釈液の散布が有効です。

「アグリボEX」や「アグリボ3」を葉面散布する際、“展着促進材”（界面活性剤・トレハロース）入り「ヤワラ」を1,000倍希釈相当で加用すると、散布液の展着性向上に効果的です。

ご質問 フリーダイヤル イーハナ イーヤサイ アグリボ
ご相談 **0120-187-183** 相談室

AGREVO

<http://www.agrevo.co.jp/>

株式会社アグリボ 〒240-0035 神奈川県横浜市保土ヶ谷区今井町528
TEL:045-352-5327 FAX:045-352-5328